

10月になりました

9月18日1～5年生は社会見学に行きました。1・2年生は、福山城と福山市動物園、3・4年生は、ふくやま草戸千軒ミュージアムとエブリイ駅家店、5年生は、NHK 広島放送局、広島平和記念公園に伺いました。当日は、雨が降るかもという天気予報でしたが、どのグループもバスでの移動中には、雨がぱらついたということもあったようですが、屋外での見学等の活動では、雨も降らず順調に日程通り社会見学を行えました。これも、ひとえに子供たちの日ごろの行いがよいため、天気も味方してくれたのだと思います。

どの見学場所に行っても、子供たちは、かわいがっていただいたようです。これまで、「あいさつを誰でもしましょう。」「話は相手をよく見て、もしくはメモをとって聞きましょう。」「並んで歩くときは、周りのことを考えてきれいに並んで歩きましょう。」などの社会性を育む指導をしてまいりました。ご家庭の皆様、地域の皆様のご協力を得て、子供たちが自然に社会性を発揮できるだけの力を付けることができているのだと思います。ありがとうございます。

さて、そのような中で、1・2年生の昼時間での出来事です。1・2年生は、福山城を眺めながら、お弁当を食べたそうです。そのあと、駅前の公園のところで少し自由時間をとった時のこと、2年生の男の子が公園にあったごみを拾い始めたそうです。その子は、2年生らしい元気いっぱいな姿も見せてくれるのに加え、普段より友達や周りの人のことを思い、自分から行動（手伝う、譲るなど）をよく見せてくれていました。2年生の男の子が、ゴミ拾いを始めると周りの1年生、2年生の子どもたち（総勢14名）も、ゴミ拾いを始めたそうです。どの子も、2年生の男の子からゴミ拾いという気付きを得て、行動に変えていったのだと思います。これも、普段より、「よいことは自分からする」「よいことは自分もする」という気持ちを持つように、ご家庭の皆様、地域の皆様が声をかけていただいているからだと思います。

「自分がしたのではないかから関係ない」という「^{わたくし}私」（自分のことだけ考えて行動する）ではなく「みんなが喜ぶ、安心できる」という「^{おおやけ}公」（みんなのことも考えて行動する）の気持ちが育っていてくれることをとてもうれしく感じました。「公」を大事にする、神石高原町の地域の皆様方のお人柄を表していると思います。

三和小では、三和小ブランドという子どもたちに「こうなってほしい姿」を5つ目標に掲げています。ご家庭の皆さん、地域の皆さんが大切に育てられてきた子供たちは「こうなってほしい姿」になってきています。学校は、ご家庭、地域の教育活動と連続、連携した教育活動を基にして、子供たちが社会で生きていくための力を付けていきます。教職員一同、6年間を見通して、心豊かな子供たちを育てていきたいと思っています。今後とも、学校の取組へのご理解、ご協力、応援をよろしくお願いいたします。

神石高原町立三和小学校
校長 前田 静樹



三和小ブランド（三和小の児童は）

- ・あいさつで周りを元気にします
- ・地域のことを考えて行動できます
- ・困っている人のために行動できます
- ・みんなで協力して問題を解決します
- ・「感謝」の気持ちを「やる気」につなげます